

学校だより

緑 風

くろくふう

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和4年8月29日(月) 第5号

知識と知恵

校長 二瓶 亮

まだまだ暑い日が続く中、第2学期が始まりました。

保護者・地域の皆様には、39日間の夏休み、コロナ第7波の中となりましたが、子供たちの健康管理・生活指導の御支援等、温かな心配りや目配りをいただき、第2学期を迎えることができましたことに心から感謝を申し上げます。

さて、秋といえば「勉強の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」などといわれます。夏の暑さが過ぎ去り、心地よい風が吹き始めるこの季節は何をやるにしてもよい環境のもとでできるからなのでしょう。吹上中学校でも9月9日(金)に行われる吹香祭を皮切りに、生徒会役員選挙、新人戦班大会・各種コンクール、音楽祭、2年生校外学習等々、1学期にも増して、数多くの学校行事が計画されています。コロナ禍ではありますが、吹中生と本校の教職員は、今できる最大限のことを考え、すべての行事に対して真剣にそして全力投球で取り組みます。今年も生徒一人一人の行事にかける想い、そして、成功させよう、自分のもてる力を十分発揮しようという意気込みを仲間同士で感じ取り、学校だからこそ味わえる「達成感」や「絆作り」を体感してほしいと思います。



ところで、皆さんは「知識と知恵の違いは何？」と聞かれたらどう答えますか。辞書で調べてみると知識は〈物事について、いろいろと知っていること。知っている内容〉とあり、知恵は〈物事を判断し、計画・処理する心のはたらき〉(小学館：新選国語辞典)とありました。知識は頭にためておくもの、お金に例えると知識は「貯金」で知恵はその「使い道」ということでしょうか。

知識は、意欲さえあればどんどん増やしていけます。そして知恵は、問題が起きたり、分からないことに出会ったりしたとき、知識を駆使して、良しとする方法や手段を見つけ出す能力です。したがって、基となる知識は多いに越したことはありません。知識がなければ、良い知恵は浮かんできません。こう考えると学校の授業はまさしく知識を蓄え、同時に課題に対して知恵を働かせたり、時にはグループで知恵を出し合って解決方法を見つけ出したりして学ぶ場であるといえます。知識を蓄えるという意味では人間がAIに勝つことは難しいことかもしれません。しかし、知恵を働かせる部分や知恵を出し合って解決する部分では対抗できると思います。ICT機器やAIの優れた点を活用し(使いこなし)、課題を解決していく力を身に付けることが、これからの予測不能な変化の激しい社会をたくましく生き抜くことにつながると考えます。

4月に行われた埼玉県学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査の結果が学校に届き、先生方が吹上中学校の学習状況を分析してくれています。2学期はその結果も踏まえた授業が展開されることとなります。とはいえ、まずは授業でしっかり知識を蓄えることが大事です。貯金と同じで貯める気になりさえすれば、貯められます。その上で、授業で出される課題に対して知恵を使って解決して、分かる楽しさや新しいことを学ぶ喜びを感じて欲しいと思います。勉強に限らず、学校行事や部活動での取組や体験から学ぶこともたくさんあるはずです。2学期、吹中生の活躍を全力で応援していきます。

最後に、新型コロナウイルス感染症第7波の中で2学期がスタートしました。学校では引き続き、感染防止対策を徹底し、生徒一人一人が日々の成長できるよう教育活動を展開していきます。御家庭においても感染防止について御指導いただき、生徒たちにとって「実り多き2学期」「充実の2学期」となるよう、皆様方の御理解と御支援をお願い申し上げます。